

第28回・第29回 日本がん検診・診断学会総会

コロナ時代のがん検診—最新の画像診断からがんゲノム診断まで—

第30回日本婦人科がん検診学会 総会・学術講演会

がん撲滅を目指した検診技術のパラダイムシフト

開催趣意書

講演抄録集広告掲載募集のご案内

企業展示募集のご案内

共催セミナー募集のご案内

協賛金募集のご案内

第28回日本がん検診・診断学会総会 会長：
西井 研治（岡山県健康づくり財団附属病院 院長）

第29回日本がん検診・診断学会総会／
第30回日本婦人科がん検診学会総会・学術講演会 会長：
笹川 寿之（金沢医科大学・産科婦人科 教授）

会 期：2021年9月11日（土）、12日（日）

会 場：完全Web開催

御挨拶



第28回日本がん検診・診断学会総会会長を拝命致しました岡山県健康づくり財団附属病院の西井と申します。本学会は多数の臓器のがん検診・診断について、その有用性や今後の課題について、専門性の違う各分野の専門家が集まって議論し、いろいろな提言を行ってきました。第28回総会は2020年岡山市において開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症蔓延のためやむなく中止となりました。会員の皆さんにご協力をいただき企画を準備していたため、第29回会長の笹川寿之先生のご厚意で、一部の企画を第28回総会と共同開催という形で実施させていただけることになり、森山光彦理事長ならびに笹川寿之先生に感謝いたします。

私自身は呼吸器内科医であり、30年にわたって肺がん検診にかかわってきました。肺がん検診の分野では70mm、100mm間接フィルムからデジタルレントゲン、そして低線量CTと撮影機材の進歩により、より早期の肺がん発見が増えていることを実感しています。わが国では2人に1人が「がん」になる時代だと言われ、あらゆる領域でがんの早期発見方法や低侵襲の治療法の開発が求められています。そのような社会の要求を踏まえて、がん検診においても、ゲノム診断をはじめとする新しい検診技術が次々に生まれています。治療においても今や患者の遺伝情報を調べて（companion診断）、それに最適な治療法を選択する「Precision Medicine」が常識となりつつあります。ゲノムの知識は検診従事者にとっても今後ますます必要なものとなることが予想されます。

一方、がん検診の精度管理の問題についても本学会で数多く取り上げられてきました。高齢者のがん検診をどうするのか。過剰診断や見落としの問題など議論が必要なテーマが多く残っています。また今後増えていく個別検診の精度管理についても、実地医科の先生を巻き込んで議論を深めていく必要があると思います。

このような観点の企画をシンポジウム、ワークショップ等の形で提供するとともに、がん検診の問題点の整理とコンセンサスづくりに貢献したいと思います。

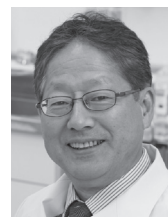
2020年5月吉日

第28回日本がん検診・診断学会総会

会長 西井 研治

(岡山県健康づくり財団附属病院 院長)

御挨拶



第29回日本がん検診・診断学会／第30回日本婦人科がん検診学会総会・学術講演会の会長を拜命致しました笹川寿之です。本総会は、多領域のがん検診・診断について、その有用性や今後の課題について、専門性の違う各分野の専門家が集まって議論し、さまざまな提言を行うことが目的です。今回は、2021年9月11～12日の2日間開催することになりました。

私は産婦人科医として、30年以上ヒトパピローマウイルス（HPV）と子宮頸癌に関する基礎および臨床的研究とそれを応用した臨床を実践してまいりました。また、日本臨床細胞学会の専門医として、子宮頸がん検診における細胞診断にも長年かかわってきました。ご存知のように、Papanicolaou博士が開発した子宮頸部擦過細胞診による検診によって、子宮頸癌の発生率・死亡率は著しく減少しました。ところが、女性の社会進出が進むにつれて女性の意識や生活環境が大きく変わってまいりました。性経験の若年齢化や晩婚化という現象が一般化し、女性の飲酒や喫煙の機会も増えてきました。その結果、1980年代後半まで減少していた子宮頸癌が1990年以降徐々に増加しています。特に日本では若年齢の子宮頸癌患者の増加は著しく、20～30歳代の女性は200人以上、40歳代を含めると500人以上が毎年亡くなっています。さらに毎年1万人以上が子宮を失っています。

子宮頸癌の原因はHPV感染です。性交経験したほとんどの女性が感染し、その多くは免疫で排除されるものの、一部の女性では持続感染化して10年以内に前癌状態、さらに10年以上を経て浸潤癌になります。発癌過程では喫煙などがリスク因子として作用します。そこで、HPV感染予防ワクチンで高リスクHPV感染を未然に防ぎ、子宮頸がん検診におけるHPV遺伝子検査導入によって前癌状態で発見する2段階システムによってがんを撲滅するというパラダイムシフト的変革が世界中で起こっています。ところが日本においては、HPVワクチンは中断状態、子宮頸がん検診におけるHPV遺伝子検査の導入も進まず、将来、危機的状況になると危惧されています。

今回の日本婦人科がん検診学会では、このような状況を打破するための方策についておおいに議論したいと思っています。また、日本がん検診・診断学会では外科、婦人科、泌尿器科、耳鼻科などの各領域において、将来、がん検診を変えるであろう遺伝子診断を含めた新技術を紹介し、それらのメリットは何か、どのようにすれば導入できるか、費用対効果はあるか、などについて討議していただきたいと考えております。

2020年5月吉日

第29回日本がん検診・診断学会総会／
第30回日本婦人科がん検診学会総会・学術講演会
会長 笹川 寿之

(金沢医科大学・産科婦人科 教授)

開催概要

1. 大会名称： 第28回・第29回日本がん検診・診断学会総会および
第30回日本婦人科がん検診学会総会・学術講演会
2. 会 期： 2021年9月11日(土)、12日(日)
3. 会 場： 完全Web開催
※オンデマンド期間 9月21日(火)～9月27日(月) 予定
4. 主 催： 特定非営利活動法人 日本がん検診・診断学会
特定非営利活動法人 日本婦人科がん検診学会
5. 大会長： 第28回日本がん検診・診断学会総会
西井 研治(岡山県健康づくり財団附属病院 院長)
第29回日本がん検診・診断学会総会および
第30回日本婦人科がん検診学会総会・学術講演会
笹川 寿之(金沢医科大学・産科婦人科 教授)
6. 参加予定数： 300名
7. プログラム： (1) 特別講演
(2) 記念講演
(3) 教育講演
(4) ランチョンセミナー・共催セミナー 4題
(5) スポンサーセミナー 2題
(6) モーニング・ティータイムセミナー 2題
(7) シンポジウム 4題
(8) ワークショップ 2題
(9) 一般演題(口演・ポスター)
8. 学会事務局： 第28回・第29回日本がん検診・診断学会総会／
第30回日本婦人科がん検診学会総会・学術講演会 事務局
株式会社クバプロ内
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-11-15
TEL：03-3238-1689
FAX：03-3238-1837
E-mail：jacdd-jagcs2021@kuba.jp

講演抄録集広告掲載募集要項

1. 掲載媒体： 第28回・第29回日本がん検診・診断学会総会 抄録集
第30回日本婦人科がん検診学会総会・学術講演会 抄録集
※両学会総会の抄録集に広告が掲載されます。
2. 発行部数： 1,400部
第28回・第29回日本がん検診・診断学会総会 800部
第30回日本婦人科がん検診学会総会・学術講演会 600部
A4版、表紙カラー／本文モノクロ1色、オフセット印刷
3. 発行時期： 8月中旬予定
4. 配布対象： 日本がん検診・診断学会および日本婦人科がん検診学会の会員と
当日参加者、関連企業
5. 掲載料金： A4版
表4 [白黒・カラー]：150,000円(消費税込165,000円) 1社
表3 [白黒・カラー]：100,000円(消費税込110,000円) 1社
表2 [白黒・カラー]：100,000円(消費税込110,000円) 1社
中項(全面)[白黒]： 60,000円(消費税込 66,000円) 2社
中項(半面)[白黒]： 30,000円(消費税込 33,000円) 8社
※表2、表3、表4の掲載はお申込み先着順とさせていただきます。
6. 申込締切日： 2021年6月30日(水)
7. 原稿締切日： 2021年7月16日(金)
8. 入稿形態： 完全データ(PDF)入稿
※必ずデータの出力紙をご提出ください。
9. お振込み先： 銀行名：ゆうちょ銀行
口座種類：普通預金
口座番号：店番【008】9595438
口座名義：特定非営利活動法人日本がん検診・診断学会
トクビニホンガンケンシンシダングァクカイ
10. お問い合わせ先： 第28回・第29回日本がん検診・診断学会総会／
第30回日本婦人科がん検診学会総会・学術講演会 事務局
株式会社クバプロ内
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-11-15
TEL：03-3238-1689 FAX：03-3238-1837
E-mail：jacdd-jagcs2021@kuba.jp

講演抄録集広告申込書

年 月 日

- 講演抄録集に広告掲載を申込みます。
- 表4 [白黒・カラー] 150,000円 (消費税込 165,000円)
- 表3 [白黒・カラー] 100,000円 (消費税込 110,000円)
- 表2 [白黒・カラー] 100,000円 (消費税込 110,000円)
- 中項 (全面)[白黒] 60,000円 (消費税込 66,000円)
- 中項 (半面)[白黒] 30,000円 (消費税込 33,000円)

貴社名：

ご担当者名：

ご担当部署：

〒

ご連絡先住所：

TEL：

FAX：

E-mail：

申込先：
第28回・第29回日本がん検診・診断学会総会／
第30回日本婦人科がん検診学会総会・学術講演会事務局
株式会社クバプロ内
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-11-15
TEL：03-3238-1689 FAX：03-3238-1837
E-mail：jacdd-jagcs2021@kuba.jp

共催セミナー募集要項

1. 開催日程： 2021年9月11日(土)、12日(日)
オンデマンド配信 9月21日(火)～9月27日(月) 予定
2. 講演形式： Zoomを使用したPCプレゼンテーション形式で60分、スポンサードセミナーは打ち合わせのうえで個別に決定。
※プログラムの都合により、時間帯が多少変更になる場合もありますのでご承知ください。
3. 講演種類(募集企業数)：
モーニングセミナー(1社) ランチョンセミナー(4社)
スポンサードセミナー(2社) ティータイムセミナー(1社)
4. 参加費：
 - ・モーニングセミナー 800,000円(消費税込880,000円)：
2日目(9月12日(日)) 朝 座長1名、講演者1名
 - ・ランチョンセミナー 900,000円(消費税込990,000円)：
1日目(9月11日(土)) 昼 2社 2日目(9月12日(日)) 昼 2社
 - ・スポンサードセミナー 800,000円(消費税込880,000円)：
1日目(9月11日(土)) 昼 1社 2日目(9月12日(日)) 昼 1社
 - ・ティータイムセミナー 800,000円(消費税込880,000円)：
1日目(9月11日(土)) 午後
座長1名、講演者1名※1 上記セミナーにおいて、参加費には講演者、座長・司会等の謝金、旅費交通費、宿泊費、製作物費用は含まれておりません。
※2 上記セミナー料金は、Web中継およびオンデマンド配信にかかる費用を含んでいます。
5. 申込締切日： 2021年6月30日(水)
6. その他： 演題・講演概要を抄録に掲載いたします。
 - ・原稿締切日：2021年7月9日(金)
 - ・入稿方法：Wordにてお送りください。※申込締切日以降、プログラムが確定後に詳細を連絡いたします。
8. お振込み先： 銀行名：ゆうちょ銀行
口座種類：普通預金
口座番号：店番【008】9595438
口座名義：特定非営利活動法人日本がん検診・診断学会
トクビニホンガンケンシンシダシガクカイ

共催セミナー申込書

年 月 日

- 共催セミナーを申込みます。
- モーニングセミナー 800,000円(消費税込880,000円)
- ランチョンセミナー 900,000円(消費税込990,000円)
- スポンサーードセミナー 800,000円(消費税込880,000円)
- ティータイムセミナー 800,000円(消費税込880,000円)
- その他()

貴社名： _____

ご担当者名： _____

ご担当部署： _____

〒

ご連絡先住所： _____

TEL： _____

FAX： _____

E-mail： _____

申込先：

第28回・第29回日本がん検診・診断学会総会／
第30回日本婦人科がん検診学会総会・学術講演会事務局
株式会社クバプロ内

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-11-15

TEL：03-3238-1689 FAX：03-3238-1837

E-mail：jacdd-jagcs2021@kuba.jp

協賛金募集要項

1. 開催日程： 2021年9月11日(土)、12日(金)
2. 協賛金の金額：一口50,000円(税込み)
口数は2口以上で随意
3. 協賛金の目的：全額 第28回・第29回日本がん検診診断学会総会／第30回日本婦人科がん検診学会総会・学術講演会の運営資金として使用
4. 申込締切日： 2021年6月30日(水)
5. お振込み先： 銀行名：ゆうちょ銀行
口座種類：普通預金
口座番号：店番【008】9595438
口座名義：特定非営利活動法人日本がん検診・診断学会
トクビニホンガンケンシンシダシカクカイ

協賛金申込書

年 月 日

協賛金を申し込みます。

一口 50,000円 × () 口 = () 円

貴社名： _____

ご担当者名： _____

ご担当部署： _____

〒

ご連絡先住所： _____

TEL： _____

FAX： _____

E-mail： _____

**第28回・第29回日本がん検診・診断学会総会
第30回日本婦人科がん検診学会総会・学術講演会 収支予算案**

日 時：2021年9月11日（土）、12日（日） 完全Web開催

※金額はすべて消費税抜き

収入の部		予算案	備 考
参加費		3,000,000	医師@10,000×300名
		100,000	臨床検査技師@2,000×50名
広告掲載料		710,000	
共催費	共催セミナー		
	ランチョン4社	3,600,000	@900000×4社
	スポンサードセミナー	1,600,000	@800000×2社
	モーニング・ティータイムセミナー	1,600,000	@800000×2社
協賛金		250,000	
学会負担金		1,000,000	がん検診・診断学会600,000 婦人科がん検診学会400,000
合 計		11,860,000	

支出の部		予算案	備 考
Web配信費	Web開催関連経費	4,840,000	
会議費	会議費	1,600,000	
企画運営費	企画運営費	720,000	
制作費	ポスター・チラシ	280,000	
	HP制作費	300,000	
	講演抄録集制作費	1,200,000	
	その他（封筒・参加証）印刷費	220,000	
事務局管理費	通信費	272,000	
	消耗品費	150,000	
	交通費	200,000	
	事務費		
	スタッフ人件費	750,000	
	事務管理費	1,000,000	
その他	記念品費	150,000	
	予備費	178,000	
合 計		11,860,000	

本件に関する問い合わせ先

第28回・第29回日本がん検診診断学会総会／
第30回日本婦人科がん検診学会総会・学術講演会 事務局
株式会社クバプロ内

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-11-15

TEL 03-3238-1689 / FAX 03-3238-1837

E-mail jacdd-jagcs2021@kuba.jp